



北部一周 コース MAP

北部一周コースは、ヒルクライム大台ヶ原大会コースを含む村を半周するルートです。ヒルクライム大会に向けた練習はもちろん、コースから望むルート上の四季折々の風景やお地蔵さん、またルートのゴールには大台ヶ原や和佐又山から望む景色が待っています。都市では味わうことのできない、上北山村ならではの空気を感じることが出来ます。



厳選 村民おすすめの見どころをご紹介します!

本コース上の村民選りすぐりのおすすめポイントを紹介。おすすめ場所の位置は、裏面の地図の上に番号で示しています。それぞれのアイコンは見頃時期を示しています。

🌸:春 🌞:夏 🍁:秋 ❄️:冬



①大台ヶ原 大蛇窟

意を決して鎖に囲まれた大蛇窟の先端に立つと、足下から約800mの断崖絶壁のスリルが味わえ、目前には世界遺産の大峯奥駈道（大峰山脈）を見渡す事が出来ます。

⚠️ 尾根つたいの道は、切り立った場所もあるので、注意が必要。



⑤姨峯地蔵尊 (交通安全)



櫃原方面から熊野方面へ新伯母峯トンネル抜けて、すぐ左手(169号沿い)。このお地蔵さま、元は辻堂山の北山の入り口に納めて祀られていました。

吉野地方には無い良質の花崗岩で造られていることから、大切に運ばれてきたのだらうと言われています。



②日出ヶ岳山頂からの紅葉



360度のパノラマを体験できる日出ヶ岳山頂展望台からの景色は必見です。空気が澄んでいれば富士山も見えるかも。



⑥吊り橋



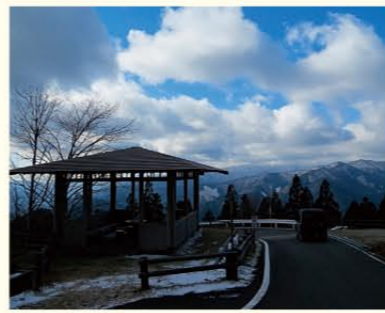
国道169号沿い(道路標識491番)から、徒歩2分ほど川側に降りていくと現れる吊り橋。スリル抜群。気軽に行くことのできる、穴場スポットです。



③大台ヶ原ドライブウェイ (冬期は通行止め)



春から夏にかけての新緑。秋の色鮮やかな紅葉。初冬の霧氷。雲海。季節によって、それぞれの魅力的な大自然を楽しむことができます。



⑦辻堂東屋からの眺め



夕焼けの景色が素晴らしい。大峯山系をぐるっと眺めることができます。(冬期凍結注意)



④猪笹王祠



上北山村には、日本昔話で登場してきそうな妖怪伝説があります。(いろんな説があります。)猪笹王のお話もその伝説のひとつです。



⑧和佐又山ヒュッテ



和佐又山は、眼下に北山峽を見下ろす壮大な眺めを誇っています。夏はキャンプやハイキング等、アウトドアを満喫できます。

上北山村に伝わる伝説①

●猪笹王の伝説①

牛石ヶ原には、牛が寝そべっているような形をした「牛石」が菅原の中にポツンとある。この牛石は、いまから三百数十年前、天台宗の丹誠上人が法力によってたくさんの妖怪変化を封じ込めた石である。しかし、一本足たただけは、一年に一度だけ「果ての20日」(12月20日)に自由に出てくることを許された。以来「果ての20日に伯母峰を越すな、越せば一本たたらに生き血を吸われる」と里人に恐れられるようになった。

この妖怪を何とか退治しようとしたのが、天ヶ瀬村の射場兵庫頭という人である。兵庫頭は鉄砲の名人だったが、一本たたらは手ごわい相手で、なかなかしとめることができない。ある年の「果ての20日」に降りしきる雪の中を名犬ブチを連れて伯母峰へ向かった。突然、サーッと血腫い一陣の風がどこからともなく吹き抜けると、急にあたりは真暗になり、はるか彼方からポーンと青白い鬼火が明滅しながら近付いてくる。兵庫は鉄砲を撃ち続けたが、その弾丸も尽き果ててしまった。兵庫の手は無意識に腰のお守り袋を探っていた。この中には獵師が必ず持っている神仏祈願の魔除けの弾丸が入っている。最後の力をふりしぼり、妖怪めがけてごう然と打ち放った。次の瞬間的中したのか、「ギャー」と天地も裂けるような叫び声をした。

参考図書

- 大台ヶ原・大杉谷の自然一人のかかりあい—菅沼孝之・鶴田正人(ナカニシヤ出版)
- 「大台ヶ原の自然解説マニュアル」(財)日本自然保護協会

もしも!の時は...

●緊急連絡先

上北山村役場 07468-2-0001
吉野警察署さくら分庁舎 0746-32-0110 (代表)
吉野土木事務所 0746-32-4051

●困った時の対処法

自転車が走行不能になった場合は、ご自身でタクシー等をお呼びください。なお、道路上には100mごとにポストナンバーがありますので、場所を伝えるときはその番号をご活用ください。



ポストナンバー

コース上には携帯電話がつかない場所もありますので、くれぐれもバンク対策等は十分にいたうえてサイクリングをお楽しみください。

もしクマに出会った場合は、落ち着いてゆっくりとその場から離れましょう。その際、クマに背を向けずに、クマを見ながら、ゆっくり落ち着いて後退してください。

発行: ワーク 21 上北山
協力: 上北山村
編集: (株)地域計画建築研究所 (アルバック)
印刷: 共栄印刷株式会社

本マップは平成25年度過疎集落等自立再生緊急対策事業(総務省)を活用して作成しています。

